

しじゅうから

10
No.481いきもの
豆ちしき

秋の夜は夏のセミに代わってコオロギやキリギリス類の綺麗な声（たくさんいるとうるさいかもしれませんが・・・）が聞こえるようになり、その音色でより秋を感じられるようになります。コオロギとキリギリスは大きくはバッタの仲間。小鳥の森ではこれまでに36種類のバッタの仲間が記録されています。その中でも小鳥の森でよく見られる5種類を紹介し



オンブバッタ（オンブバッタ科）

名前の通り、メスの背中にオスが乗っている姿がよく見られる種類。

オスの体長は2cmほど、メスに体長は4cmほどなので、小さいオスはよく子どもと間違われますが、立派な大人。メスが子どもをおんぶすることはありません。園内の草丈の低い草地ではどこでもと言ってもいいくらい普通に見られます。ショウリョウバッタのように頭が三角計になりますが、体形や大きさが大きく異なります。明らかに違う点はオンブバッタの目の後ろにはイボがあること。

ショウリョウバッタ
（バッタ科）

日本産のバッタの中では最大種。メスの方が大きく8～9cmにもなります。オスは飛ぶ時に「チキチキキッ」と鳴きながら飛びます。

イボバッタ
（バッタ科）

背にイボ状の突起が2つあることが名前の由来。全体的にまだら模様で、地面にいと同化して全く居場所がわからないことが多いです。



クサキリ（キリギリス科）

クビキリギスに似ますが、クビキリギスよりも発生時期が早く9月中から見られます。見た目の違いは頭の先がとがらない方がクサキリになります。

エンマコオロギ
（コオロギ科）

秋の鳴く虫の代表種。「コロコロリー」という声は、美声かつ分かりやすく、日中でも草陰で鳴いていることもあり、姿を見ることもよくあります。



たからもの 森の宝物探し

小鳥の森で宝物（自然の中の生き物）を見つけることができればオリジナル缶バッジをプレゼントしています。その日に見つける宝物が何かをネイチャーセンターで確認して、写真を撮ってレンジャーに見せるとミッションクリア！

今月の生き物はコレ

キツツキ科 アカゲラ(メス)

森の中を歩いていると、どこからともなく、「コンコンコン…」と音が響いてくることがあります。この音を響かせる正体はキツツキ類で、エサを探す時に幹をつつく音なんです。小鳥の森には、主に3種類のキツツキ類がいます。体が一番小さいコゲラ、羽の色が黄緑色味をおびるアオゲラ、そして、今回の主役アカゲラです。このキツツキ類は全て留鳥で、一年中森のどこかにいます。

アカゲラはオスとメスはほぼ同色で、見分けるポイントとして、オスの頭頂部は赤色ですが、メスはその部分が黒いのが特徴です。ところで、キツツキ類には名前に「～ゲラ」とありますが、これは「ケラ」が濁った言葉で、ケラとはキツツキ類が木を突く音だったり、鳴き声の「キョ、キョ、キョ…」とか「ケケケ…」などの音に由来するようです。キツツキ類が木をつつくのは、幹の中に隠れている虫を食べるためで、開けた穴に、頭骨をぐるっと囲むほど長い舌を差し込んで、からめとって食べます。これからの季節は、アカゲラやアオゲラなどのキツツキ類が幹をつついていて様子がよく見られます。森のどこかでつつく音が聞こえたら、是非見つけて観察してみてくださいね。

しじゅっぴークイズ：この中で、実際に存在するキノコはどれでしょう？

1. チリタケ 2. ホコリタケ 3. ゴミタケ

しじゅっぴーのつぶやき

キノコの世界へ
ようこそ 🍄



「香り松茸味しめじ」こんな文言を聞いたことはありますか？キノコ料理で香りはマツタケが一番だけど、味はシメジが最高！という意味です。この場合のシメジはスーパーに売っているものではなく、ホンシメジといわれる森のキノコの事を指します。夏～秋にかけて、森の中には菌類、すなわちキノコの世界が広がります。そこで、小鳥の森にはどんなキノコが生えているか、ほんの一部ですが紹介したいと思います。



この中に皆さんの好みキノコはありましたか？10月にはもう見られないキノコもありますが、森の中でひっそりと生えているキノコたちを探してみてもいいかな？

最新情報はこちら

福島市小鳥の森（ネイチャーセンター）

《入場無料》休館日：毎週月曜日

（祝祭日の時はその翌日）

開館時間：午前8時30分～午後5時



Instagram



旧Twitter



ホームページ

